

# いちのへ SDGs mirai カフェ Vol.2

～SDGs とまちづくりとは？どんな町に暮らしたい？～



開催日時：令和5年8月20日（日）13:00～16:30

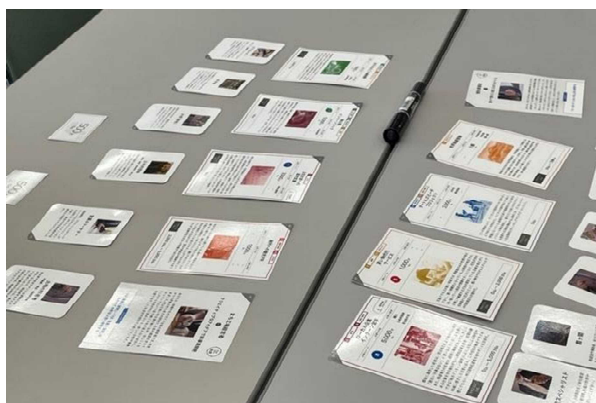
会場：一戸町コミュニティセンター 会議室

主催：一戸町

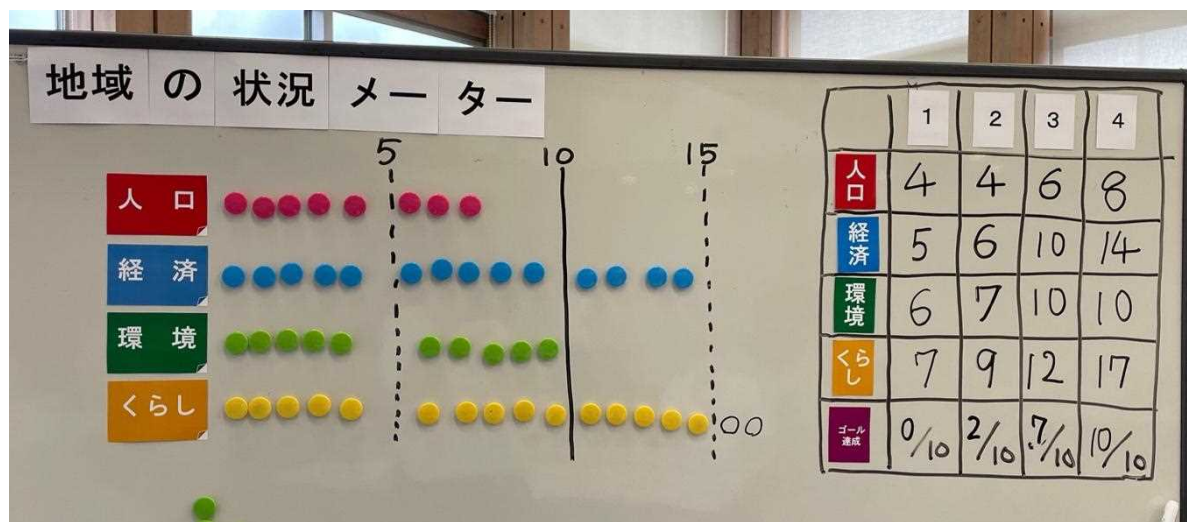
町への期待や想い、一戸の未来について気軽に意見交換し、どんな町に暮らしたいか、やりたいことは何かを話し合うタウンミーティング「いちのへ SDGs mirai カフェ」の第2回が8月20日に開催されました。参加者は高校生、会社員など17名。「SDGs de 地方創生カードゲーム」で2030年までのまちづくりを様々な立場で体験しました。また、一戸町総合計画町民アンケート調査結果やカードゲームの体験から、参加者それぞれが関心を持っている、町の現状における満足度や課題などを話し合いました。

# SDGs de 地方創生 カードゲーム体験

SDGs の考え方をヒントに、多様なプロジェクトの実行を通じて持続可能な地域の作り方を理解するゲーム型プログラム「SDGs de 地方創生」。地域で暮らす様々なステークホルダー（個人事業主、一次事業者、NPO、自治体職員、金融など）が、まちづくりのプロセスを体験しながら、個々の目標と、持続可能なまちの未来を創造するといった目標を達成すべく、対話や協働といったことを実際に行動していきます。今回は、一戸町の現状を重ね合わせて体験を深めていきました。

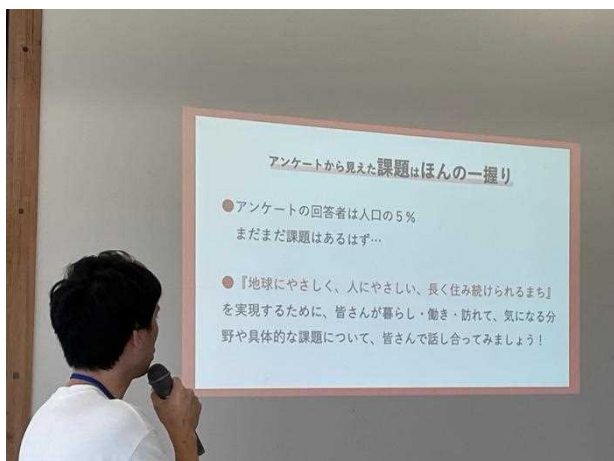


参加者のみなさんが町の未来を考え、町の状況を全体的に捉えて協働してプロジェクトを実行した結果、2030年の町（一戸町）は、全員がゴール（目標）を達成し、人口も増え、経済、暮らし、環境ともに良好な、とても暮らしやすい町となっていました。



ゲーム終了後は、体験を振り返り、行動が変わるきっかけや気づいたことについて、グループで話し合いました。また、日本各地の具体的な活動や事業を題材にして作られている、プロジェクトカードの内容を参考に、一戸町では何が重要か、新しいヒントはないかなど、考えを深め合いました。

# 町の現状への満足度と課題について



第1回同様、一戸町から令和4年度に実施された「一戸町総合計画町民アンケート調査結果」を基に、町の現状への満足度と課題について説明。不満足分野のトップ3は「商工観光業」「移住・定住」「地域コミュニティ」、重要度分野のトップ3は「医療・健康・福祉」「子育て支援」「教育」という結果となりました。

町の担当者からは、「地球にやさしく、人にやさしい、長く住み続けられるまちを実現するために、皆さんが暮らし・働き・訪れて、気になる分野や具体的な課題について、カフェの学びや提供された情報を基に話し合ってもらいたい」と話がありました。

## 対話の時間



カードゲームの体験や町の現状への満足度と課題から、各自関心のあるテーマを選び、問いをヒントに話をしました。

商工観光業に関する話が多かったのですが、複数の分野を横断した話もあり、内容がリンクしている場合もありました。SDGsの17ゴールと同様に、テーマが相互に関連しあっていることが分かります。

### 問1：関心のあるテーマは？（一戸町総合計画町民アンケート調査の「不満足分野」「重要度分野」より）

不満足分野：1.商工観光業 2.移住・定住 3.地域コミュニティ

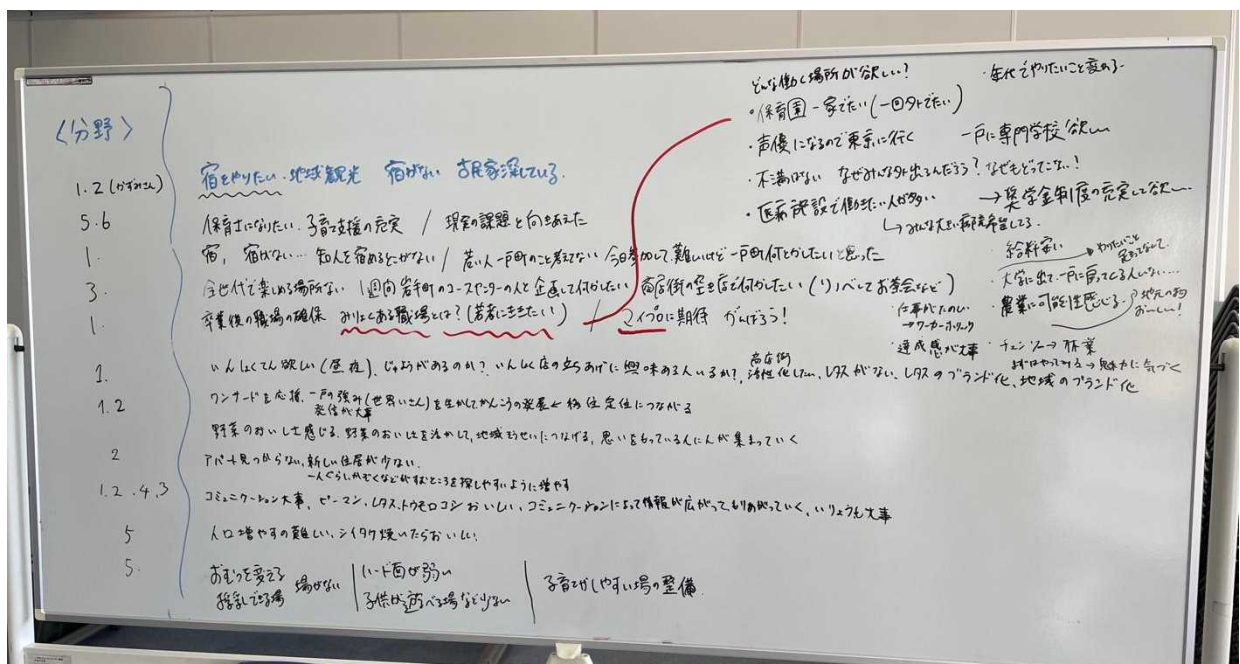
重要度分野：4.医療・健康・福祉 5.子育て支援 6.教育

**問 2 : 以下の問いを参考に、関心のあるテーマについて自由にお話ください。**

- ・一戸町の「いま」と聞いて、まず自分が想像するものは？
- ・本当はやりたいけれど、やっていないことは？
- ・個人的に応援している人や活動は？
- ・もし一戸町の町長やリーダーになったら、どんな取り組みをしたい？
- ・永く存在し続けてほしいと思う、一戸の風景は？
- ・自分の立場からできる、SDGs 達成に向けた行動は？

<p>1.商工観光業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿が欲しい。知人を泊めるところがない。</li> <li>・若い人は一戸町のことを考えていない。今日カフェに参加して、難しいけど一戸町をなんとかしたいと思った。</li> <li>・高校生が取り組んでいる「マイプロジェクト」に期待したい。</li> <li>・飲食店が欲しい。(昼、夜) 飲食店の立ち上げに興味がある人がいるだろうか？</li> <li>・商店街を活性化したい。</li> <li>・レタスのブランド化、地域のブランド化を行うのはどうか。</li> <li>・農業に可能性を感じる。地元のものはおいしい。</li> <li>・仕事が楽しい/ワーカホリック。</li> <li>・仕事の達成感が大事。</li> <li>・卒業後の職場の確保が必要。魅力ある職場とは？若者に聞いてみたい。</li> </ul> <p><b>「高校生にとって魅力のある職場とは？」「どんな働く場所が欲しい？」</b>(参加者からの質問に対し)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園(で働きたい)。</li> <li>・一戸に専門学校が欲しい。</li> <li>・奨学金制度を充実してほしい。</li> <li>・一度外(町外)に出たい。</li> <li>・中途半端な都市に行くなら東京がいい。</li> <li>・医療施設で働きたい人が多いが、みんな大きい病院を希望している。</li> <li>・不満はない。なぜみんな外に出るのだろう？なぜ戻ってこない？</li> <li>・チェーンソーから林業に関心を持つ。まずはやってみると魅力に気づくのではないか。</li> <li>・大学に行って、一戸に戻ってくる人がいない。</li> <li>・給料が安い。</li> </ul>
<p>1.商工観光業 2.移住・定住</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿がやりたい。古民家を探している。(一戸町には) 地域観光をしたいが宿がない。</li> <li>・「縄文 OneThird」を応援。一戸の強み(世界遺産)を生かして観光の発展を。移住定住にもつながる。発信が大事。</li> <li>・野菜のおいしさを感じる。野菜のおいしさを活かして地方創生につなげる。思いを持っている人たちが集まってくる。</li> </ul>

<p>1. 商工観光業 2. 移住・定住 3. 地域コミュニティ 4. 医療・健康・福祉</p>	<p>・コミュニケーションが大事。ピーマン、レタス、とうもろこしがおいしいことは強み。コミュニケーションによって情報が広がって盛り上がっていく。 ・医療も大事。</p>
<p>2. 移住・定住</p>	<p>・アパートが見つからない。新しい住居が見つからない。一人暮らしや家族など、住むところを探しやすくしてはどうか。(戸数も) 増やしてほしい。</p>
<p>3. 地域コミュニティ</p>	<p>・全世代で楽しめる場所がない。 ・岩手町のユースセンターのような場所が一戸町にもできたら良い。 ・SETと取り組んでいる「マイプロジェクト」で色々な取り組みが生まれそう。ぜひ実現したい。 ・商店街の空き店舗で何かしたい。リノベしてお茶会などができたら嬉しい。</p>
<p>5. 子育て支援</p>	<p>・人口を増やすのは難しい(カードゲーム体験から) ・おむつを替えたり、授乳できる場所がない。ハード面が弱い。子供が遊べる場所も少ない。 ・子育てがしやすい場の整備が必要では？</p>
<p>5. 子育て支援 6. 教育</p>	<p>・保育士になりたい。子育て支援の充実が必要。 ・(カードゲーム体験から) 現実の課題と向き合えた。</p>



## チェックアウト（感想の共有）

- ・色々な話題が出た。
- ・一戸を活発にしたい。
- ・やるが増えた。
- ・短期的ではなく、長期的に視るきっかけになった。
- ・人口が増えづらいのが分かった。人口減少スピードを緩やかにしたい。
- ・（カードゲームは）思ったように動けないと思った。多世代の人が未来を語れる場を。
- ・常識を超えていく。複数の職業を持つ。
- ・ゲームを通じて色々な人と話せた。
- ・できる限りのことをしたい。
- ・課題を聞いてよかった。色々なことがつながっている。
- ・課題を見つけるきっかけを作って行きたい。
- ・コミュニケーションをとって輪を広げたい。

## 次回開催について

### いちのへ SDGs mirai カフェ Vol.3～仲間を見つけて深堀り会議～

日時：（仮）令和5年10月1日（土）13時30分～16時30分

会場：一戸地区センター2階大会議室、またはコミュニティセンター会議室

「地球にやさしく、人にやさしい、長く住み続けられるまち」を実現するために、一戸で暮らし・働き・訪れた時に気になる分野や具体的な課題について、より具体的なアクションを進めていく仲間・ネットワークづくりを行います。